



学校図書館だより

11月号

令和5年11月
柏市立柏第五中学校
学校図書館

秋がぐっと深まり、朝晩の冷え込みには冬の気配を感じるようになりました。日が暮れるのも早くなりましたが、晴れた日の空は高く、青く、いろいろなことに気持ちよく取り組むことができそうです。秋の夜長は「灯火親しむべし」です。学校図書館には、世界を広げる知識の本も、心を豊かにする物語もたくさんあります。ほっとする灯りの下で、広く深い本の世界を味わってください。

市内中学生ビブリオバトル開催！

10月22日（日）に柏市立図書館主催の「市内中学生ビブリオバトル」の決勝が行われました。

チャンプ本：

『方丈記』 鴨長明 / 角川学芸出版

準チャンプ本：

『電話をしてるふり』

バイク川崎バイク / ヨシモトブックス

審査員特別賞：

『夜が明けたら、いちばんに君に会いにいく』

汐見夏衛 / スターツ出版

図書館長賞：

『か「く」「し」「ご」と「』 住野よる / 新潮社



★ ビブリオバトルを

もっと知りたい人はこちら…… ★

『ビブリオバトルを楽しもう』

ゲームで広がる読書の輪』

（粕谷亮美/文 さ・え・ら書房〈019〉）

「知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト」

<https://www.bibliobattle.jp/>

（ビブリオバトル普及委員会）

「人を通して本を知る。

本を通して人を知る。」

（ビブリオバトルキャッチコピー）

今月のおすすめ本チャート

秋の夜長を楽しむために



秋といえば読書！

YES

時間をかけて物語の設定に入っていく。

YES

A 秋の夜長に長編小説はいかが？

NO

美味しいものが好き。

NO

一生懸命に走っている人を見ると感動する。

YES

B 駅伝シーズン！タスキをつなぐ小説をどうぞ。

YES

C 美味しいものは、心もつながる！

NO

D 短い時間でも読み切れる短編集がオススメ。



A

『サラバ！上・下』

西加奈子 著 小学館〈913/ニシ〉

1977年5月、坏歩は、イランで生まれた。父の海外赴任先だ。チャーミングな母、変わり者の姉も一緒だった。イラン革命のあと、しばらく大阪に住んだ彼は小学生になり、今度はエジプトへ向かう。後の人生に大きな影響を与える、ある出来事が待ち受けている事も知らずに――。

（小学館ホームページより<https://www.shogakukan.co.jp/>）

B

『タスキメシ』

額賀濤 著 小学館〈913/ヌカ〉

陸上の名門高校で長距離選手として将来を期待されていた眞家早馬は、右膝の骨折という大けがを負いリハビリ中。そんな折、調理実習部の都と出会い料理に没頭する。心に傷を抱えた早馬は競技からの引退を宣言。それぞれの熱い思いが交錯する駅伝大会がスタートする。そのゴールの先に待っているものとは……。

（小学館ホームページより<https://www.shogakukan.co.jp/>）

C

『宙ごはん』

町田そのこ 著 小学館〈913/マチ〉

物ごころついた時から育ての「ママ」と一緒に暮らしてきた宙（そら）。小学校入学をきっかけに産みの「お母さん」、花野（かの）と暮らすことになるが、彼女は理想の母親像からは程遠く…。

（小学館ホームページより<https://www.shogakukan.co.jp/>）

D

『家族シアター』

辻村深月 著 講談社〈913/ツジ〉

「家族」で起こる、ささやかな大事件。近くにいるから傷つけ合う。遠くにいてもわかり合える。大好きだけど、大っきらい——読めばきっと、あなたの「わが家」に帰りたくなる。

（講談社BOOK倶楽部より<https://bookclub.kodansha.co.jp/>）